



巻頭言

わからなさにとどまることと 本当に知ること

御池心理療法センター
平井 正三

私たち心理臨床家は、目の前の子どもや家族のことを知ろうと努める。少なくとも少しでもその子どもや家族のことがわからない限り、何か役に立てることを考えたり、ましてや役に立つことを行ったりするなどできないからである。「わかったところで何も変わらない」と言われることも確かである。しかし、私たちは何かがわかったり、あるいは自分のことを本当に分かってもらえたと感じたりするときにすべてが異なって感じられることがある。

それは私たちが、人と人との分かち合いの中で人としての自分を生かしている存在であるからだとは私は理解している。このような意味で私たちが誰かのことをわかるためには、その人と一定期間ともに過ごす必要がある。友だちや家族や身近な人を思い浮かべてほしい。一緒にいることで初めてその人のことがわかってくるのはわかっていただけたと思う。しかしながら、長く一緒にいてもその人のことが全くわかっていなかった、あるいは自分のことが全く分かってもらえていなかったと実感することもしばしばである。それは私たちが相手のことをわかっているつもりになっている場合ではないだろうか？

私たち心理臨床家は経験を積みれば積むほど、クライアントのことをすぐにわかったつもりになってしまうかもしれない。私は、心理臨床の極意は、クライアントから学ぶこと、クライアントから教えてもらう術であると思っている。私たちは経験を積み、この子どもはきっとこういう心理的な問題を持っているに違いない」といった予想を立てることに長けていく。それはそれで役に立つことも多いが、一番重要なのは、私たちが、子どもに驚かされ、家族に驚かされ、自分の考えがいかにか浅はかであったり、偏見に満ちていたりしたかを思い知らされるのに開かれているかどうかである。

このことを考えるときに、私はよくアーシュラ・ル＝グインの『ゲド戦記』の第2巻『こわれた腕環』のことを思い出す。第1巻『影との戦い』で魔法使いの見習いのゲドは影、すなわち自分の中の知らない面と戦い克服し、魔法使いとして一人前になったかのように見えた。しかし、第2巻では、そのゲドは地下世界に閉じ込められ魔法が使えなくなり、暗闇の中を彷徨する。

私たち心理臨床家も、自分自身の拠って立つ心理臨床の理論や技法が役に立たず、暗闇の中を手探りで進んでいける力を培うことが大切ではないだろうか？ そのとき、その暗闇を照らす灯りは、理論でも技法書でも、スーパーバイザーでも偉い先生でもなく、目の前の子どもや家族であることに気づき、一緒に協働する術を身につけるのがこの仕事の秘訣ではないかと私は思っている。

目次

2020年度事業計画 -2

2019年度事業報告 -4

平井正三先生
公開SVのご報告 -5

「おうちから参加
できる」研修会の
ご案内 -6

2020年度 事業計画

臨床心理サービス事業

カウンセリングルーム「こだち」 では、臨床心理士の資格を持つ相談員が心理面接を担当しています。

家庭学習支援事業 では、不登校や発達障害を抱える児童生徒を対象として、主に臨床心理学を専攻している大学生・大学院生の学習支援員の派遣を行っています。

家庭学習支援は「①家庭学習支援員の派遣」「②保護者相談」「③家庭学習支援員の資質向上(研修)」の3つを1セットと定めています。



思春期居場所支援事業(こりーと) では、不登校児童生徒やひきこもりの青少年を対象に、金曜日の13時～16時にこだちのプレイルームを使ってフリースペース活動を行っています。スタッフ数名とゲームや折り紙、おしゃべりをしたり、ゆったりとした時間を過ごしています。また、活動前後にミーティングを行い、関わり方などの話し合いをします。

協働事業

地域のニーズに応じて、カウンセラー・講師派遣事業を継続的に実施してきました。講師派遣に関しては好評のものも多く、引き続き依頼が届いている機関も多くあるほか、新しくご依頼をいただいているものもあります。

今年度も引き続き、大学生・社会人等を対象としたキャリア支援講義、ストレスケア講義の講師派遣を行っていきます。



研修事業

2020年度も、引き続き多くの研修会を企画しています。参加申し込みは左記QRコード他、こだちから送付するチラシやホームページにも掲載しておりますので、ご参照ください。次頁に「開催予定」と記載のものに関しては、日程が決定次第ホームページ等にてお知らせいたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

< 2020年度 実施研修会・講演会のご紹介 >

田中康雄先生 特別講演会

※秋以降 開催予定

講師：田中 康雄 先生
(こころとそだちのクリニックむすびめ)
定員：200名

増井武士先生 公開スーパーヴィジョン

講師：増井 武士 先生
(東亜大学大学院客員教授)
日時：2020年10月25日(日)
定員：100名

子どもを支える専門職対象 オンライン研修会

ON LINE

テーマ：子どもの社会性発達支援の基礎
～共同注意と遊びの理解～
講師：浜田 恵 先生 (名古屋学芸大学)
日時：2020年8月9日(日)・9月27日(日)
定員：50名

ころ研ABC

(こだちロールシャッハ研修会初級編)

講師：船津 文香 先生
(九州大学キャンパスライフ・健康支援センター)
日時：2020年10月10日(土)
定員：30名

セラピストフォーカシング ワークショップ

講師：吉良 安之 先生 (九州大学)
日時：2020年11月7日(土)～8日(日)
定員：15名程度

WISC・WAIS研修会

講師：木谷 秀勝 先生 (山口大学教育学部)
【第1回】
日時：2020年12月6日(日) 定員：50名
【第2回】
日時：2021年2月28日(日) 定員：50名

事例で学ぶテストバッテリー

講師：高橋 靖恵 先生 (京都大学大学院)
日時：2021年2月7日(日)
定員：30名

精神医学講座

※2020年3月中止講座の代替開催

講師：三木 浩司 先生 (小倉記念病院)
日時：2021年2月14日(日)
定員：50名

2019年度 事業報告

臨床心理サービス事業

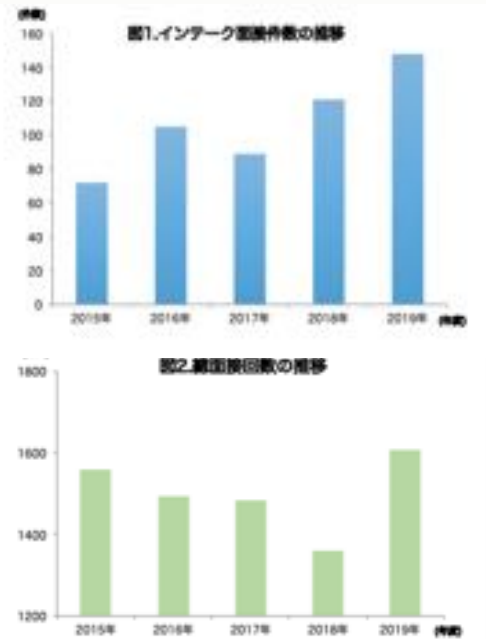
こだちでは、臨床心理士の資格を持った相談員の心理面接事業が大きな柱となっています。2019年度は148件のインテーク面接をし、総面接回数は1608回でした。

インテーク面接、継続面接ともに2019年度は増加しており、市民対象の無料講座を開催したり、各研修会に多くの方がご参加くださったことで、こだちのことを広く知っていただいたことが関係していると考えられます。

相談内容は、例年同様、子どもや保護者の相談(不登校、発達の相談、親子関係、友人関係等)や成人の相談(家族関係、対人面での悩み、会社の人間関係、うつ等)と、多岐にわたる相談内容があり、医療機関や学校と連携しながら面接を実施しているものも多くあります。福岡市内や県内はもとより、県外からも来談いただいています。

また、家庭学習支援事業も例年にも増して多くの申し込みをいただき、派遣回数は355回となりました。家庭学習支援員の登録も、九州大学の大学院生のみならず県内の各大学にもご協力いただき、より広いエリアへの派遣ニーズに対応できるようになってきています。

思春期居場所支援事業(ここりーと)も九州大学の大学院生がスタッフとなり、安定した活動を行うほか、昨年度開催が開始した不登校児童生徒の親の会(ここあんの会)も引き続き毎月1回行われました。



協働事業



一般企業や行政・教育機関、病院等へ講師派遣を行い、2019年度も様々な研修会を行いました。毎回ご好評をいただき、毎年ご依頼くださる機関も増えております。

臨床心理学の知見を活用した地域社会の貢献を当法人の設立理念として掲げていますが、会員のみなさまのご協力から、地域の多くの企業、病院、学校とのつながりがさらに広がっています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

研修事業

2019年度は、これまで継続的に実施してきた研修会に加え、市民向け講座としても「発達障害の二次障害と回復」「思春期のふしぎ」といった研修会を企画し、多くの方にご参加いただきました。

2020年度も新たに、広く、多くの方にご参加いただけるようにいろいろな研修会や講演会を企画しております。新型コロナウイルス感染症の影響で日程が未定のものもありますが、随時ホームページやFacebook等でお知らせいたしますので、ぜひご確認ください。

研修会に関するご感想やご意見もお寄せいただけると嬉しいです。

特別企画

第13回定時総会特別企画として、お茶の水女子大学の岩壁茂先生をお迎えし、特別講演会を開催しました。「修正感情体験—心理療法におけるメカニズム」というテーマでご講演いただき、実際のセラピーの様子を映像を通して学ぶ大変貴重な機会となり、皆様にもご好評をいただきました。

平井正三先生 公開SVの ご報告

2020年1月12日、九州大学西新プラザ大会議室において、平井正三先生（御池心理療法センター）を講師に招いての公開スーパーヴィジョンを開催しました。

事例の提供は、臨床心理士の須藤将司先生でした。以前からSV関係にあった先生方の臨場感のあるやりとりに、参加者73名が真剣にスーパーヴィジョンの行方を見守っていました。今回は子どものプレイセラピーの事例でしたが、須藤先生が用意された資料にはクライアントとセラピストのやりとりが詳細に記載され、またその時のセラピスト側の気持ちが丁寧に記されており、面接空間をリアルに感じられるものでした。まず平井先生からフロアにいる方も積極的な参加をお願いしたいというお話があり、その時の生の気持ちや連想を大切にされる先生の姿勢がうかがえました。



ケース内容に入る前にケースの構造や経路についてのディスカッションがありました。クライアントは何を求めてきた人たちなのか、紹介する側の逆転移についても言及され、セッションが始まる前の文脈を読み取ることからケースを紐解いていきました。検討では、家族を観察する視点についてお話がありました。家族はノンバーバルな細かいやりとりを常にしているため、丁寧に観察をしていく必要がある、その上でクライアントが持ちこたえられる環境があるかどうか、その中で母親を支える重要性を示されました。

また、怒りや感情をあらわにするクライアントに対しても誰の怒りを買っているのか。セラピストが“わからない”ことや“有用であるという感覚じゃない”ことにどれだけ持ちこたえられるか。セラピスト側のその時の姿勢について話は波及し、それぞれの日頃の臨床場面への想起を大いに掻き立てるものとなりました。

今回の発表事例は中断事例でしたが、そこに至るプロセスにクライアントや家族からのメッセージが沢山詰まっていたこと。またそれに対して真摯に振り返り、学びを深める須藤先生の姿勢に臨床家として非常に大事な姿勢があることに気付かされました。クライアントへの介入方法や、治療構造について深く考えることができ、様々なことを連想させる濃厚な時間となりました。普段なかなか精神分析の世界に触れられない参加者からも“時間が足りないと感じるほど有意義だった”と声が上がるほど充実したスーパーヴィジョンとなりました。

【須藤先生のご感想】

私は職場の同僚からこだちの公開SVに事例を出して欲しいと言われ、経験的にもビジュアル的にももう公開する年齢でもないと思い、断ろうと思ったが、自分の臨床実践を振り返り、検討する必要があると思い、お引き受けすることにした。

平井先生は、元々私のスーパーバイザーで、SVを受けたのは7年ぶりだったのだが、懐かしさよりも新鮮な感覚だった。SVの時に繰り返し言われていたのだが、「分からなさ」に耐えること、「問い(疑問)」を大切にするというBionの言葉を改めて気付かされ、大変有意義な時間だった。

このような機会を与えて下さったこだちのスタッフの皆様、参加して頂いた皆様に感謝したい。

「おうちから参加できる」 市民講座のお知らせ

子どもとおとなのこころの整え方 ～新しい生活様式におけるストレスと付き合い方～

ON
LINE

新型コロナウイルスの影響で新しい生活様式が求められる今、**コーディネーター**に佐賀大学の**下田 芳幸 先生**をお迎えし、「子どもとおとなのこころの整え方」というテーマで参加形式も新たな市民講座を企画いたしました。Zoom会議システムを利用するか、直接ご来場いただくか選択可能となっており、各回500円でどなた様でもご参加可能です。お待ちしております。



▲詳しくはこちら

【第1回】 子どもの心の理解と 見守るポイント

講師：吉村 隆之 先生（鹿児島大学）
姫島 源太郎 先生（香蘭女子短期大学）
日時：2020年7月25日(土)

【第2回】 心に関わるための 身体へのアプローチ

講師：黒山 竜太 先生（熊本大学）
日時：2020年9月20日(日)

※本講座は福岡市NPO活動推進補助金事業「新型コロナ対策特別募集」補助金を活用して実施しています

入会のご案内

こだちは今年で14年目を迎えます。地域に定着した心理臨床サービスを継続するには、収支の安定が求められます。NPO法人の会員となって、私たちの活動を支えていただけると幸いです。会員になっていただける方はぜひ、こだちまでご連絡ください。なお、会費は1年毎の更新制です。よろしくお願いいたします。

※住所等の会員情報が変更になりましたら事務局までお知らせください。
登録内容の変更はHPからも受け付けております。

会員(ひと口5,000円)：臨床心理士・公認心理師(予定)・医師
その他対人援助に関わる方(定款参照)
学生会員(ひと口1,000円)：学部生・大学院修士課程
賛助会員(個人：ひと口5,000円・団体：ひと口10,000円)



ご支援のお願い

当NPO法人では、会員以外の方からも、ご寄付をお待ちしております。関心や興味を持たれた方は、ぜひご連絡ください。

交通のご案内



〒814-0002
福岡市早良区西新2-16-23
九州大学西新プラザ 産学交流棟
TEL / 092-832-1345
FAX / 092-832-1346

地下鉄でお越しの方
福岡市営地下鉄空港線 西新駅下車後
7番出口より徒歩にて約10分

バスでお越しの方
西鉄バス「西新一丁目」または「今川橋」下車後
徒歩にて約10分

FOR MORE INFORMATION
最新情報配信中



九州大学 こだち

